

大阪電気通信大学同窓会組織

ゆうでんかい

大阪電気通信大学友電会



YU DeNKA!

The Alumni Association of Osaka Electro-Communication University



2024年度

総会 報告

2024(令和6)年6月22日(土)

寝屋川学舎で定時社員総会・懇親会を開催



ゆうでんかい

大阪電気通信大学同窓会組織友電会会誌

Contents

- 02 **会長就任挨拶**
出会いは宝! 学びは力!
.....一社法人友電会 廣谷明会長
- 03 **学校法人理事長メッセージ**
永続的な学園経営に向けて
.....学校法人大阪電気通信大学 大石利光理事長
- 04・05 **2024年度定時社員総会の日**
～伸びゆく母校の現況レポート～
- 06 **定時社員総会 第一部**
2023年度決算報告
- 07 **定時社員総会 第一部**
2024年度予算報告
- 08・09 **定時社員総会 第二部 記念講演**
記念講演挨拶
.....学校法人大阪電気通信大学 塩田邦成学長

記念講演
ICTを活用し、工学・医療・スポーツの総合力で、
人と人の健康を支える人材育成をめざして
.....学校法人大阪電気通信大学 太田暁美教授
友電会事業「若年会員起業支援」目録贈呈
- 10 **新体制がめざす友電会像**
～人事刷新で新たな一歩を～
めざす友電会の創造
- 11 **新体制設置に係る定款**
一社法人友電会 新理事役員紹介
- 12・13 **2024年度奨学生決まる**
寄付金についてのお願い
- 14・15 **2024年度支部総会開催される**
- 16 **ホームカミングデイご案内**

編集後記

本年度の定時社員総会（6月実施）を経て、役員体制も一新され、新組織となった下での会誌「ゆうでんかい」の編集・発行となりました。今回は、その社員総会の詳細を報告するとともに、一般社団法人 大阪電気通信大学友電会の組織体制と役員紹介に多くの紙面をいただきました。廣谷会長の就任挨拶にもありますように、友電会員や支部との連携強化、大学・学園発展のための相互関係の構築や準会員（学生）への具体的支援、さらに大阪電通高校同窓会・短期大学部同窓会（校友会）との連合同窓会組織の検討や地域貢献のための事業の創出など基本的な方針も理事会で確認されています。

2024 年度に「建築・デザイン学部」が開設され、さらに引き続き、社員総会時に基調講演をいただきましたように、2025 年度「健康情報学部」が新しく誕生します。また、寝屋川キャンパスのリニューアルが2022 年 3 月に竣工しました。このようにハード・ソフト面ともにますます充実・発展している母校。そこで学ぶ学生たちの支援や友電会員相互の交流の一助となるよう、この会誌「ゆうでんかい」の紙面も充実させていきたいと考えています。

会長就任挨拶



出会いは宝! 学びは力!

～共に連携し・創造する同窓会を～

ひろたに あきら
一社法人友電会会長 廣谷 明

友電会会員の皆様、こんにちは。

私は2024年(令和6年)に開催されました一般社団法人大阪電気通信大学友電会の社員総会で新代表理事(会長)に就任いたしました、通信工学科1976年卒業(F12期卒)の廣谷 明と申します。

友電会(同窓会)は、1965年(昭和40年)に発足して今年で60年になります。

その後、2019年(令和元年)に一般社団法人の認可を得て新たな同窓会組織・友電会がよりバージョンアップし5年目になります。

一社法人友電会の設立時会長の福田武から廣瀬一夫が引継ぎ、この度3代目の代表理事(会長)として大任を担うことになりました。

卒業期も2桁となった若輩ではありますが会員58,000余名の先頭に立ち、本会をけん引してゆく所存です。

これまで以上にご支援・ご協力を宜しくお願い申し上げます。

定款(目的)には、『会員相互の親睦と研修を図るとともに、学校法人大阪電気通信大学と緊密に連携を保持し、その発展に協力して、教育、学術及び文化の発展に寄与することを目的とする。』とあります。その目的の実現に向けてとくに、下記の3点について尽力いたします。

1つ目は、

目的達成のため、社会のさまざまな分野や友電会にあっては各事業ならびに各支部で活動されておられるOB・OG並びに同窓諸氏の方々と繋がり、触れ合い・寄り添いながら、連携して同窓会組織の運営にあたります。

2つ目は、

大学ならびに学園のさらなる発展に寄与するために、これまで以上に緊密な相互関係を結び、準会員である学生に対して具体的に支援します。

3つ目は、

学園同窓会の発展を念頭に、高等学校同窓会や友電会の連携強化さらに短期大学部同窓会(校友会)の元会員の大学への帰属復帰を図る連合同窓会組織の検討を行いたいと考えています。さらに、一社法人としての使命を自覚し、地域社会に貢献できる事業を創造していきます。

20歳から80歳の幅広い年齢層で構成される友電会員の皆様が電通大卒のブランドで集まり、明日の大学を語れる事業展開をしていく所存です。

会員の皆様より一層のご健勝とご活躍をお祈りし、ご支援ご協力をお願い申し上げ、会長就任のご挨拶といたします。



永続的な 学園経営に向けて

学校法人
大阪電気通信大学理事長 大石 利光

卒業生の皆様におかれましては、日頃より何かと本学園に対し、多大なるご支援、ご協力を賜っております事、衷心より厚く御礼申し上げます。

ICTの進展や社会のグローバル化はこれからもますます加速し、IoTや生成AIなど情報技術の進化は激しく、DXと呼ばれているような社会的変化も起こり、加えて少子化のスピードは想定以上に加速しています。このように本学園を取り巻く環境は日々激しく変化し続けており、社会の潮流を捉えた迅速な変革が求められる時代になってきています。

本学園は、1941年に当時の先端技術領域であった電子工学や通信工学という電気通信技術の学校として発足し、1961年に大学を設立しました。その後、時代の変化とともに改革を続け、必要とされる人材を輩出し、まさに今、5万8千名を超える本学卒業生の皆様が各業界・各世代においてご活躍いただいています。直近の本学の改革としては、今年4月に工学部建築学科の学びを発展させた「建築・デザイン学部」を新設し、都市や建築、インテリアにいたる幅広いスケールの実空間、さらにはデジタル技術により構築された情報空間など、人間をとりまくあらゆる空間づくりを学べる学部とし、本学ならではの実学教育と情報教育を展開しながら、人々が安全で快適に、豊かに生きる社会を支えるスペシャリストの育成を進めています。

次なる改革は、臨床工学技士、理学療法士、保健体育の教員などを輩出する医療健康科学部の改組です。来年2025年4月にこれを「健康情報学部」とし「医療工学専攻」「理学療法学専攻」「スポーツ科学専攻」の3専攻を新設します。本学の強みであるデジタルスキルを各専攻に組み入れ、すでに充実している施設・設備の活用とともに、eスポーツについても既存のゲーム系2学科と連携し拡充するなど、医療の学びに本学ならではの情報分野をかけあわせた人材を輩出していきます。

さらに、2026年4月にはゲーム系2学科を新たな「デジタルゲーム学科※」として新設し、ゲームを創ったその先へ社会をゲームとしてデザインする「ゲーム・社

会デザイン専攻※」、ゲーム開発をゼロから学びエンタメの魅力を深める「デジタルゲーム専攻※」、ゲームだけでなくコンテンツ表現の可能性を広げる「ゲーム&メディア専攻※」の3専攻とする予定です。この新たなデジタルゲーム学科では、バーチャルとリアルがつながるこれからの新しい世界で活発な社会・経済活動をおこなえる人材の育成を目指します。

このような改革や取り組みを社会に広く認知すべく、本学ではこれまでの広報活動に加えて、8月には「デジタルスキルで人生を切り拓け」というテーマのTVCMを在阪4局にて展開しました。まだご覧になっていない方は下記のQRコードまたはURLよりぜひご覧ください。

社会の変化そして少子化の影響は教育業界のみならず、卒業生皆様の職場や毎日の生活環境においても同様であり、求められる迅速な変革に対応されているお一人おひとりの努力や工夫、経験の蓄積は大きな力になります。一般社団法人大阪電気通大学友電会には、そのような卒業生皆様の力を結集させ、世代を超えたネットワーク作り、そしてこれから社会へ飛び立つ現役学生が卒業生を身近なロールモデルとして感じられるような枠組みを作っていただきたいと考えています。

社会情勢を冷静に見極め、建設的に前向きに改革を進めることは容易ではありませんが、今取り組まなければ先はありません。本学園も世界・国の動きや社会のニーズなど、学園を取り巻く変化とともに必要となる役割を果たすことで成長を続け、17年後の学園創立100周年、さらにその先の時代や地域から選ばれる学園として、人と社会を創る経営に努めてまいります。

今後とも引き続き本学園の発展に向けての一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。最後になりましたが、一般社団法人大阪電気通大学友電会の益々の発展と卒業生の皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げます。

※いずれも仮称・
設置構想中



▼TVCM特設サイトはこちら
<https://www.osakac.ac.jp/special/tvcm/>



2024
年度

一般社団法人大阪電気通信大学友電会 定時社員総会の日 ～伸びゆく母校の現況レポート～

6月
22日

in
寝屋川学舎

開催日 2024(令和6)年6月22日(土)
時間 13:00 ~ 15:00
場所 大阪電気通信大学寝屋川学舎
出席者 議決権がある社員総数122名中
1)出席者 77名
2)委任状 12名
3)議決権行使者 4名

※定款22条により総社員の議決権の過半数以上の出席者77名で総会は成立した。

議長 早野 秀樹(E28)
会長 廣瀬 一夫(F07)
議事録確認者 竹内 和生(I23)
三上 哲夫(M40)





このイベントを運営するにあたり、学生組織の大学祭実行委員会、吹奏楽団、管弦楽団、Photo部の協力のもと、円滑に運営できました。総会にご参加の皆様、大学関係者および総会運営にご協力いただいた方々のご協力に感謝いたします。

第1部 定時社員総会

廣瀬一夫会長挨拶に続いて、2023年度事業報告・決算報告、2024年度事業計画・予算報告、2024年度新役員選出など、第1号議案から第5号議案について質問・意見交換の後、採決が行われた承されました。

質疑応答では会員や社員が高年齢化するなか、若年層へのアプローチに関心が集まり、支部の開設と運営についての質問や役員人事についてご意見をいただきました。

幅広い年代層にむけての友電会への勧誘の仕方や、災害が多発するなか被災会員への支援についてなど、これからの友電会のあり方について多く話し合われました。

第2部 記念講演会

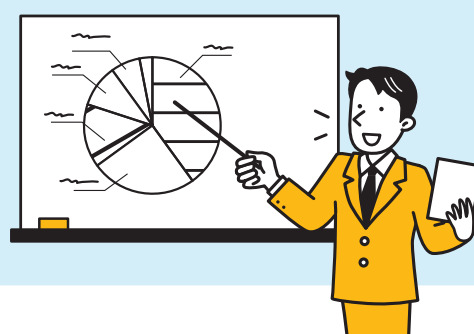
塩田邦成学長によるご挨拶・ご紹介に続いて、医療健康科学部長太田暁美教授による講演が行われました。

2025年4月開設新設の健康情報学部への期待が高まる講演でした。最後に選出されたばかりの廣谷明新会長の挨拶で締めくくられました。

第3部 懇親会

1F学生食堂にて管弦楽団、吹奏楽団の演奏のなか、各テーブル和やかな雰囲気うちに懇親会が行われました。

来賓紹介とご挨拶、大石利光理事長のご挨拶、廣瀬一夫会長から廣谷明新会長への引継ぎ式、太田暁美医療健康科学部長への花束贈呈、友電会事業「若年会員起業支援」目録贈呈の後、恒例の大学歌を合唱し閉会いたしました。



◇2023年度事業報告・決算報告

1. 各種規則等の制定

- 一 社友電会の基盤となる規程
 - ・「若年会員企業支援規程」を制定
 - ・「支部規程」を制定

2. 会員名簿の整理と利用・配本等の検討

3. 支部活動の活性化と若年層会員の積極的勧誘

- ・新設支部「電建会」が発足

4. eスポーツ大会の事業推進

- ・eスポーツ大会を実施

5. 給付奨学金の拡充

6. 就職活動支援と卒業生ネットワークづくり

- ・建築学部内ベンチャー企業に対する支援1件

7. 機関紙、ホームページの改訂

- ・友電会誌138,139号を発刊

◇監査報告

実施日 令和6年5月10日

内 容 令和5年度監査
(2023年4月1日～2024年3月31日)

監 事 池田 清
中野 正三
山崎 貞彦

帳票等について、法令および一社法人の定款に基づき適正に示されていると認めます。

なお、固定資産税の最終計上額については次期会計年度への繰り越し処理を認めます。

◇2023年度理事会開催状況

- 第1回 2023年4月15日(土)WEB会議
事業計画、決算・予算案審議他
- 第2回 2023年5月28日(日)対面会議
事務局長辞任・定款改定他
- 第3回 2023年8月5日(土)対面会議
社員規定変更・支部イベント申請他
- 第4回 2023年9月24日(土)WEB会議
支部規定・法人評議員選考他
- 第5回 2023年10月21日(土)WEB会議
オブザーバー参加規程他
- 第6回 2023年11月5日(土)対面会議
社員選出承認他
- 第7回 2024年1月20日(土)対面会議
イベント費未払・支部運用規程改訂
- 第8回 2024年3月9日(土)対面会議
事業報告案・支部決算と外部監査他

貸借対照表

(2023年4月1日～2024年3月31日)(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	208,966,896	212,560,521	△ 3,593,625
前払金			0
仮払金			0
預け金	19,769,091	19,769,091	0
貯蔵品	201,388	264,000	△ 62,612
流動資産 合計	228,937,375	232,593,612	△ 3,656,237
2 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産合計			0
(2) 特定資産			
特定資産合計			0
(3) その他固定資産			
建物付属設備	1,571,518	1,685,513	△ 113,995
什器備品	487,119	867,520	△ 380,401
リース資産	360,910	615,670	△ 254,760
創立費	90,044	225,110	△ 135,066
その他固定資産合計	2,509,591	3,393,813	△ 884,222
固定資産 合計	2,509,591	3,393,813	△ 884,222
資産 合計	231,446,966	235,987,425	△ 4,540,459
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金		2,750	△ 2,750
未払法人税等	80,000	80,000	0
預り金			0
一年内返済予定リース債務	254,760	254,760	0
流動負債 合計	334,760	337,510	△ 2,750
2 固定負債			
リース債務	127,380	382,140	△ 254,760
固定負債 合計	127,380	382,140	△ 254,760
負債合計	462,140	719,650	△ 257,510
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
指定正味財産合計			
2 一般正味財産			
一般正味財産合計	230,984,826	235,267,775	△ 4,282,949
正味財産合計	230,984,826	235,267,775	△ 4,282,949
負債及び正味財産 合計	231,446,966	235,987,425	△ 4,540,459

財産目録

2024年3月31日現在 (単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
現金預金			
現金	手元保管	運転資金として	248,149
普通預金	三井住友銀行寝屋川支店 京都信用金庫寝屋川支店 枚方信用金庫	運転資金として 運転資金として 運転資金として	166,185,295 42,532,452 1,000
預け金	在学生	貸与奨学金等	19,769,091
貯蔵品	友電会事務局	クオカード93枚、切手ほか	201,388
流動資産 合計			228,937,375
(固定資産)			
建物付属設備	友電会事務局	内装、電気工事等	1,571,518
什器備品	友電会事務局	複合機、ビデオカメラ等	487,119
リース資産	友電会事務局	UTM装置	360,910
創立費		一般社団法人創立関係費用繰延額	90,044
固定資産 合計			2,509,591
資産 合計			231,446,966
(流動負債)			
未払法人税等	寝屋川市ほか	法人市民税均等割額等	80,000
一年内返済予定リース債務		リース債務 1年内期限到来分	254,760
流動負債 合計			334,760
(固定負債)			
リース債務		リース債務 1年超期限到来分	127,380
固定負債 合計			127,380
負債 合計			462,140
正味財産 合計			230,984,826

【資料】一社法人友電会2024年度定時社員総会議事資料より

◇2024年度事業計画・予算案

一社法人友電会として5年になります。
社会の変革とともに大学の改革に応じて、当会の大学への支援のあり方にも新たな視点から検討することが求められます。主要な事業等は安定的継続的に進めながら、英知を絞り事業推進を図ります。

1. 各種規則等の制定

- ・組織運営を点検し必要な改正を実施
- ・災害に対応できる支援のあり方検討

2. 支部の活性化と若年会員への積極的な勧誘

- ・新規支部創設の支援
- ・改正支部規程による若手層の取込
- ・若手層会員へのバックアップ
- ・再就職活動への支援
- ・準会員の研究テーマ助成検討と就活支援
- ・友電会主催事業への参加勧誘

※友電会を担う次世代会員の勧誘を促す
友電会事業の活性化

3. eスポーツ大会等事業推進

- ・eスポーツ大会に関連する事業の発展と継続

4. 給付奨学制度の拡充

- ・給付奨学金の増額予算と寄付制度の策定と友電会活動の活性化

5. 若年会員起業支援事業の推進

- ・建築学科内ベンチャー企業への資金面及び人的体制の確立支援

6. 海外大学との技術・研究提携支援

7. 機関紙、ホームページの充実

2023年度実績・2024年度予算案

(1) 経常収益

(単位:千円)

	2023年度 実績	2024年度 予算	2024年4月~6月
科目コード			
	受取会費		
714	正会員受取会費	29,960	29,000
716	雑収益	1	1
	寄付金	150	0
	経常収益計	29,961	29,151

(2) 経常経費

科目コード	管理費	事業費	管理費	事業費	管理費	24-25年度差額	事業費	管理費
741	給与手当		4,911		5,000	89		1,375
791	通勤費		534		550	16		125
744	雑給(学資アルバイト)		235		250	15		100
742	賞与		300		300	0		150
745	法定福利費		34		50	16		20
	退職給付引当繰越		0		0	0		0
	福利厚生費		89		150	61		10
752	広告宣伝費(HP制作)		528		500	-28		200
753	交際費		278		300	22		50
754	会議費		167		150	-17		60
755	旅費交通費		4,272		3,500	-772		3,000
756	通信費		424		450	26		100
761	事務用品費(什器備品含む)		550		500	-50		100
762	修繕費		0		50	50		10
766	支払手数料		408		450	42		150
768	リース償却費		0		0	0		0
783	租税公課		127		100	-27		25
771	支払報酬料		882		900	18		250
780	減価償却費		0		50	50		25
	管理費計		13,739		13,250	-489		5,750
	事業費							
791	機関紙制作関連費	5,800		4,000		-1,800	2,000	
793	若手会員起業支援金	0		1,000		1,000	0	
790	給付奨学金	1,800		2,000		200	0	
792	会員助成金	247		300		53	10	
748	総会費	1,075		1,500		425	1,500	
757	支部運営助成費(支部活動費)	2,369		2,400		31	50	
758	準会員助成費	2,412		3,000		588	50	
759	教育研究促進費	430		500		70	15	
773	クラブ活動助成金	500		500		0	15	
	名簿作成費	336		400		64		
	イベント費等	0		3,000		3,000	500	
794	60周年記念事業(3本ボール)	4,623		0		-4,623	0	
789	雑費(事業費・予備費)	0		500		500	250	
	事業費計	19,592		19,100		-492	4,390	
	販管費計		33,331		32,350	-981		10,140
	収入ー支出		-3,370		-3,199	171		

【資料】一社法人友電会2024年度定時社員総会議事資料より

◇主なできごと

廣瀬体制の2期目に就任した横山宏事務局長が辞任した。あとを受けた中田亮生副会長が事務局長代行を兼務した。その後、2023(令和5)年5月28日付で山崎敏之理事が事務局長に任命された。

事務局長の辞任と代行

〔事務局長〕 横山 宏 (16期)
〔事務局長代行〕 中田 亮生(32期)辞任



〔新事務局長〕 山崎 敏之(14期) 就任
任期:2023年5月28日~2024年6月22日



記念講演挨拶

～健康情報学部誕生に向けて～

大阪電気通信大学学長 塩田 邦成

総会の開催、おめでとうございます。

卒業生のみなさまにおかれましては、日頃から学園に対して、多大なるご支援ご協力をたまわっておりますこと、お礼申し上げます。

去年から、本学では大きな変化がありました。まずは去年の夏に広場が完成し、寝屋川キャンパスのリニューアルが終了したことです。また、4月に新設した建築・デザイン学部は女学生比率が20%と、人気の学部となりました。

さらに来年の4月には、新たに健康情報学部が誕生します。また、授業時間を一コマ105分に、15分延長したため、アクティブラーニングを取り入れたり、ディスカッションをしたりと、多様な授業を提供できるのです。授業は13回で終わるため、夏休みや春休みが長くなりますから、インターンシップや留学などのプログラムを提供して、学びをさらに多様化できます。

政府は大学改革に強力な後押しを始めました。それは諸刃の刃で、文系しかなかった大学が理工学部を設置するなど、私達の市場に切り込んできています。学生人口も減少するなか、卒業生にとっては、大学が元氣なことが励みになるでしょう。

新しい学部もそのための施策です。そこで太田先生に、新学部について詳しく説明していただきましょう。

ICTを活用し、工学・医療・スポーツの 総合力で、人と社会の健康を支える 人材育成をめざして

太田 暁美教授

大阪電気通信大学2025年度開設予定 健康情報学部長(予定)
医療健康科学部長(現在)

これまでの医療健康科学部は、治療は理学療法学科、工学医療は医療科学学科、健康スポーツは健康スポーツ科学科と、すべて生体にアプローチはしているものの、バラバラでした。来年4月に新設される健康情報学部健康情報学科では学力横断カリキュラムで、医療工学専攻、理学療法学専攻、スポーツ科学専攻を幅広く学べます。たとえばスポーツ科学を専攻した生徒が怪我をした人へのアプローチを学びたいければ、理学療法学専攻の科目を履修できます。

どんな分野においてもコロナ以降は特に、情報のスキルが重要になっていますので、情報教育のさらなる強化を目指し、数理・データサイエンス・AI・ICTを利用活用した問題発見、解決能力を身につけることを目指します。医療工学専攻であればAI医療特修、理学療法学専攻はスポーツリハビリテーション特修、スポーツ科学専攻はスポーツ情報特修を設け、より深い学びとスキルアップを叶えます。さらにeスポーツをスポーツ科学の観点から捉えて、新たなエビデンスを創造するべく、eスポーツの科学的・総合的な学びも取り入れました。それぞれの専攻について、もう少し具体的に紹介しましょう。

医療工学専攻では、シミュレータによって、医療現場を再現・体感できます。臨床工学技士のための大学院で、さらなる技術習得や研究が可能です。健康医療機器を扱うエンジニアを育成するため、医学、臨床工学、AI技術を体系的に学べます。さらにAI医療特修では、AIを医療に応用し、デジタルヘルスケア分野を発展させるスペシャリストを育成します。生体情報処理や、AIを活用するためのプログラミングスキルを学べますので、AIの問診、画像診断に活用でき、VRによる手術技術向上、医療技術教育、ウェアラブルデバイスによる生体情報取得を目指します。

理学療法学専攻では、ICTを活用して、一人一人に最適な治療を提案できる理学療法士を育成します。学年40名の少人数教育で、教員やOBの現役理学療法士が国家試験対策を施し、現在の理学療法士合格率3年連続100%を維持し続けたいと思います。



友電会事業「若年会員起業支援」 目録贈呈

建築デザイン学部 北澤誠男先生

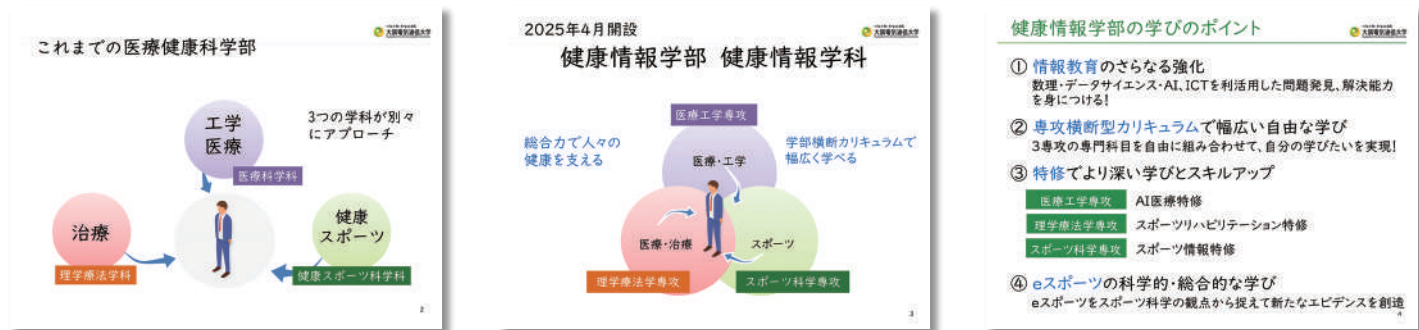
このたびは身に余る軍資金をいただき、ありがとうございました。この軍資金は、これまで友電会が培われてきたものです。この場で目録をいただいたからには、有意義に使うことを宣言いたします。

2024年6月21日、一級建築士事務所「スマイル合同会社」を立ち上げました。大学発のベンチャーとしては、多分

日本で初めての設計会社です。前身の建築サークル「create for smile」が活動する中で、地域デザインの要望が増えました。

その中には一級建築事務所ではない業務も混じっていたため、中田先生に相談したところ、ご推薦いただきました。誇るべき研究室に育てていきたいと考えています。





スポーツリハビリテーション特修は、スポーツにおける健康支援を実践できる理学療法士を目指すものです。高校の甲子園の選手をサポートするなど支援の経験を積み、スポーツの専門家から知識と技術を習得できるのも強みです。

スポーツ情報特修は、ICTを活用して収集したデータから、運動・スポーツのエビデンスを生み出せるプロフェッショナルを育成します。動作解析データから、スポーツの指導法を提案するだけでなく、ウェアラブルデバイスによる位置情報や生態情報からトレーニング強度や身体の疲労度を評価したり、ゲームの戦術、計略に役立てたりできるので、スポーツデータアナリストの育成につながります。

たとえば最近、大谷翔平選手がスポーツブラをつけていることが話題になりました。中に入っているウェアラブルデバイスで、心拍数や最大速度などのデータが取得できるもので、サッカーでは国際大会での着用も認められています。これにより、試合の最中に選手の心拍数上昇が続くようであれば、これ以上無理させられないと判断して、選手交代したりできます。データを理解して活用できるよう、使いこなせるよう指導していきます。eスポーツ実技は、プレイヤーを育てるのではなく、プレイヤーに対してのコーチングや、心理学などでeスポーツの発展に寄与できることを目指しています。

スポーツ科学専攻は、ICTを活用して、スポーツの方法や効果をわかりやすく伝えられるスポーツ指導・支援、教育のプロフェッショナルを育成します。あらゆる人を対象に、スポーツや

健康づくりの活動を支援できる人材です。当学では、専門的な計測機器や、ソフトを使ったデータ計測・解析実演により、スポーツビジネスコンテストで入賞した学生がいます。彼は他大学の学生とチームを組み、今までいなかった層である留学生にアプローチしたことが評価されました。このような思考力と実行力は、就職にも力を発揮するので、ボランティアやインターンシップで、スポーツや健康づくりの場を体験することも重要です。企業と提携し、インターンシップを体験すれば、適正があるのかも理解できるでしょう。

近年、認知症患者が増えています。軽度認知障害患者の3割程度は正常に戻ります。アルツハイマー病の危険因子の中でもっとも影響が高いのは身体的不活動ですが、有酸素運動だけでは効果がありませんでした。そこで運動課題に認知課題を加えた運動を実行すると、海馬の堆積が増加し、記憶や言語流暢性が改善しました。この運動をコグニサイズと呼び、脳の血流量が増加、脳の血管が成長し、神経栄養因子が増加しました。さらに脳の容量増加、身体的機能向上、身体活動量が増加、睡眠状況改善、うつ状態の改善、社会的活動の増加も見られました。この講義では、「1、2、3」と数えながら両足を左右にステップし、3の倍数の時だけ拍手をする「コグニステップ」と呼ばれる運動を参加者全員で体験しましょう。

我が国は、1978年頃から国民の健康づくりを繰り返し、2024年から第5次国民健康づくりがはじまっています。運動指針が示されたのは第2次からですが、近年は座位行動、つまり座りっぱなしの時間が長すぎる害について注目されています。

国別に比較すると、日本は世界で一番座位行動が長いです。座りすぎによる害は1日30分のウォーキングを週5日行っても消せないですが、1時間に1度立ち上り、1分程度歩くだけでも害が軽減するので、座位行動30分から1時間に一度、ブレイクタイムをとると良いです。30分に一度なら3分、1時間に一度なら5分歩けば、さらに良いとされています。それが難しい場合、座ったままで、かかとの上げ下げなどをして、下肢を動かすだけでも効果はあります。



参加者から一言

学校としても、卒業の時に、友電会との接点をつくらねばと思いました。学校は変わり続けなければ生き残れません。OBのみなさんからご意見いただければ幸いです。

岩村真吾
学事部長(37期)

議事進行役を精一杯つとめました。いろいろな話題の中、平均年齢を下げる施策は重要です。今後も中心的にがんばっていきたいと思います。

早野秀樹 法人総務部長(28期)

白熱し、闊達に感想を述べあえる場となりました。学校法人と友電会はペアですから、コミュニケーションをとりながら、共に歩んでいきたいものです。

田尻実
法人事務局長

友電会は身近な存在です。実行委員をつとめる学祭では、友電会の方にステージ運営に携わっていただく予定もあり、関わりを深めていきたいです。

永崎瑠七さん
(学生アルバイト代表)



新体制がめざす友電会像 ～人事刷新で新たな一步を～

(2024年6月～2026年5月)



3つの合言葉

具体的方針案

- ・ 社会で活躍する卒業生や友電会の事業や各支部で活動するOB・OG諸氏と連携した運営に務める。
- ・ 大学・学園の発展に寄与するために、一層緊密な相互関係を結び、準会員に対して支援する。
- ・ 学園同窓会の発展のため、高等学校同窓会や友電会の連携強化さらに短期大学部同窓会(校友会)の元会員を包括した連合同窓会組織の検討を行う。
- ・ 法人としての使命を自覚し、地域社会に貢献できる事業を創造する。

幅広い年齢層の友電会員が電通大卒のブランドで集まり、明日を語る事業展開をする。

めざす友電会の創造

(一社法人)大阪電気通信大学友電会 新組織
任期:2024年6月～2026年5月



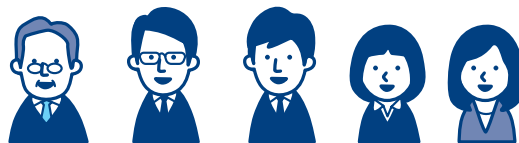
2024 年度定時社員総会で承認を受け始動した本会は、第4回理事会(2024 年 7 月 24 日開催)で従来の運営を見直し、一社法人としての目的達成に向けた組織改正を行った。特に、
①友電会活動の**民主化**と「**見える化**」に努め、組織的運営を図る。
②**部会の連携**を徹底し、組織的な対応を基本とする。
③**会員への情報発信**を重要と考え、会員への迅速な伝達を図ることとする。

会 長(代表理事)			
副会長		事務局長	
三 役(業務執行理事)			
副会長		副会長	
企画広報部会 【任務内容】 ①大学との連携 ②渉外 ③広報関連 ・会誌発行 ・ホームページ ④その他 【重点事項】 * 停滞している ホームページの見直し * 会誌140、141号発刊 * 暇キャンパスのフォロー	組織支援部会 【任務内容】 ①支部活動推進 ・支部新設と育成支援 ・支部長会関連 ②組織運営の支援 ・指導 ③その他 【重点事項】 * 支部規程見直し * 健全な支部との関係構築	事業推進企画部会 【任務内容】 ①事業企画・運営 ②新規事業立案 ・大学祭コラボ企画 ・ホームカミングデイ 企画 ③その他 【重点事項】 * 社員総会 * 情報倫理関連 * 若手会員支援事業 ◎IT情報管理者	事務統括・財務部会 【任務内容】 ①事務局運営 ②文書管理 ③名簿管理 ④財務管理 【具体的内容】 ・事務統括 ・名簿管理 ・予算/決算 ・経理 ・奨学金委員会 貸与奨学金含む ◎IT情報管理者

一社友電会理事会を支える役員

監 事	顧問団	各種委員会	学校法人関連役員
*定期的な業務及び会計監査を実施し、適正な会運営を監督する	*三役会及び理事会に関わり適正な助言をする	*奨学金委員会 *IT情報管理	*法人理事 *法人評議員

■新体制設置に係る定款



【役員の設置】より

第26条 当法人に、次の役員を置く。

- (1) 理事 11名以上21名以内 (2) 監事 2名以上3名以内
2. 理事のうち1名を会長、3名以内を副会長、1名を事務局長とする。
3. 前項の会長をもって法人法上の代表理事とし、副会長および事務局長をもって同法第91条第1項第2号の業務執行理事とする。

【理事の職務および権限】第28条

【監事の職務及び権限】第29条

【顧問】第33条

【委員会の設置】第49条

【部会の設置】第50条

【一社法人友電会 新理事役員紹介】

代表理事(会長)



廣谷 明 F12
滋賀県 びわこ支部

第1副会長



三宅 一宏 K16
京都府 京都支部

第2副会長



岡本 清孝 H11
大阪府 柔OB会

第3副会長



藤田 英治 E22
愛知県 東海支部

事務局長



柴垣 佳明 D33
大阪府

企画広報部会



堀江健二郎 H14
滋賀県 びわこ支部



杉田 吉広 G21
神奈川県 神奈川支部



田谷 利明 F07
神奈川県 ワンゲルOB会



森 和明 H09
兵庫県

事務統括・財務部会



上川 直紀 K37
大阪府 大阪支部



朝日 麻衣 U54
大阪府 大阪支部

事業推進企画部会



岡崎 浩也 L44
奈良県 医療福祉の会



大下 眞二郎 F04
長野県



平岡 臨 I07
大阪府 大阪支部



深野 隆司 I09
埼玉県

監事



山崎 貞彦 E10
大阪府 経営者の目の会



福田真規夫 I13
大阪府 大阪支部

組織支援部



沖 洋一 I15
東京都 東京支部



大神 爽平 F56
大阪府 大阪支部



北地 憲治 E10
東京都



竹田 治英 F19
三重県 東海支部



水谷 元也 E08
大阪府 大阪支部



顧 問

志村 哲樹	F07	愛知県
中野 正三	E05	東京都
中山 修	F06	大阪府
藤本 明	I06	兵庫県
山崎 敏之	F14	奈良県

学校法人評議員

中村 通	京都府 (社員枠)
阪井 悦三	大阪府 (社員枠)
藤田 英治	愛知県 (理事枠)
堀江健二郎	滋賀県 (理事枠)
廣谷 明	滋賀県 (理事枠)

学校法人理事

三宅 一宏	京都府
-------	-----

2024年度奨学生決まる

久原 功夢 様 情報学科4年生
(ビジネスプランコンテスト)

ビジネスコンテストや学会発表に取り組みました。これからの活動には、ニーズ・シーズ・プロセスを考えられる能力、コミュニケーション能力やプレゼン力を鍛えるという目的をもって取り組みました。

私はこの活動でニーズ・シーズ・プロセスを意識したビジネスプランの考え方やコミュニケーション能力を鍛えることができました。私たちのグループは位置情報と学内情報を組み合わせたキャンパス案内アプリを提案し、審査員特別賞を受賞、情報処理学会第86回全国大会に研究成果を論文にまとめ発表し、学生奨励賞を受賞しました。

私は、将来デジタルツインの構築に関する仕事に従事したいです。課外活動の経験で鍛えた能力は、卒業後もビジネスプランの提案やプロジェクトの円滑な進行に役立つと考えます。私は大学院に進学し、今後もさらなるスキルアップに努めていきます。

山本 晴喜 様 電子機械工学科3年生
(自由工房・ヒト型ロボット)

私がヒト型ロボットプロジェクトに加入しようと思ったきっかけは卒業研究及び修士課程において二足歩行ロボットについての研究を行いたいと考えたからです。そのために研究対象について知る必要があると考えて加入、活動しております。

私が加入した時、人型は他の課外活動団体はおろか唯一四條畷キャンパスで活動している影響もあり同じ自由工房の他のプロジェクトとも全く関わりのない状況でした。他の団体と関わり新たな知識や刺激を受ける重要性を感じた私は新入生勧誘の時期より寝屋川の自由工房の団体とコンタクトを取り、春電祭の自由工房代表として出席し、活動の幅を広げました。

卒業後は大学院に進学し、ダンスロボットについての研究を行いたいと考えています。安定した姿勢制御やダンスのテクニックであるアイソレーションの再現など、今よりもっと人間に近いダンスロボットを作りたいと考えております。そのために機構や設計、制御工学の他、自分自身も踊る際の体の使い方について詳しくなれるよう精進していきたいと思っています。

2024年度春、母校に学ぶ2年生から大学院生を対象に募集した友電会給付奨学生は、昨年度を上回る学生が応募しました。学内に勤務する同窓生教員により採点し、奨学金委員会での審査を経て、次の6名の学生たちに決定しました。学生たちの有意義な大学生活の一助になり、これがきっかけとなって友電会との絆を繋ぐことになれば幸いです。



寺地 由有 様 健康スポーツ科学科2年生
(管弦楽団・管弦部門)

私は管弦楽団(弦楽部門)の課外活動に学業では得られないものを得ようと考え加わりました。しかし、多くの演奏会に出演するようになってからは、より多くの人々に音楽の良さを広めたい、届けたいという思いをもって活動していました。演奏会において私が心がけていることは、コンミスとして仲間と息を合わせること、楽しむ心を失わせないことです。

健康スポーツ科学科としてメンタルトレーニング方法も学んでパフォーマンスを発揮する条件を理解することや集中力継続トレーニングなどを実際に取り組み、本番で最高のパフォーマンスを行うことができたのだと考えます。

将来は地域貢献に携わる活動をおこなっていきたいと思います。ヴァイオリニストとして、ソロコンサートを開いたり、地域のオーケストラ団員になって演奏したりすることで地域に住む人々に活力を与える活動を行って地域の復興に協力していきたいです。

藤形 悠生 様 電気・電子工学科2年生
(自由工房・マイクロマウス)

私が自由工房のマイクロマウスプロジェクトで活動する目的は、エンジニアとしての技術を習得し向上させるためです。具体的には、ハードウェアやソフトウェアの設計、プログラムなどに関する知識や技術を、制作を通じて身につけることです。これにより、学んだ知識や技術を実際の問題に対して解決できるようになりました。

活動は定期的にし、他の大学生や社会人の方々と交流会を開いています。これにより、自身の技術力を高めるとともに他者から学ぶ機会を得ています。その結果、2023年度関西地区大会のクラシックマウス競技にて

特別賞を受賞できました。

プロジェクトでは、2024年度関西地区大会の迷路設計の責任者として後輩を指導しています。これからも、マウスで培った知識と経験を活かし、さらなる技術の向上を目指し精進していきます。

永崎 瑠七 様 情報工学科2年生 (大学祭実行委員会)

私は大学祭実行委員会を運営する上で「団結力」を一番に考えて行動しています。この団結力を育てるために組織内での日々のコミュニケーションを大切にしています。副委員長という大きな役割を頂いてからは、部員との交流、大学祭の準備、他団体との交流などの活動をしています。

私は情報工学科に所属しており、卒業後は課外活動で培った他者との交流方法や統率力を活かし、プロジェクトマネージャーになることを目指しています。

専門知識の強化を図るための資格取得やプログラミング技術の向上、更なるリーダーシップの獲得にも力を入れていこうと考えています。



土橋 由佳子 様 機械工学科4年生美術部 (自由工房・レスキューロボット)

私は、美術部と自由工房で活動しています。それぞれの目的として、美術部では絵の上達と外部に発信したいと考え、自由工房レスコン班では、ロボット製作と救命救助に関心があったため所属しました。

美術部では、友電会定時社員総会にてポストカードの配布や大学祭で販売等を行いました。

自由工房では、レスキューロボットコンテスト2022でベストプレゼンテーション賞を受賞しました。

将来の目標は、公的機関に所属し理系学生を増やすことです。工学部に学ぶ女子学生が少なく、特に機械工学科の女性は少ないです。女性的な視点として工学の面白さや就職活動などのロールモデルとして発信していきたいです。

大学卒業後は、大阪府庁技術職に入庁予定です。課外活動では様々な提案をしてきました。その挑戦力を活かしたいです。また、プレゼン力と継続力、そして最後まで粘る力も率先して活用していきたいです。

奨学生選考に通過後は、課外活動でマネジメントに携わりたいと考えています。



紙面の都合で論文の一部のみの掲載となりましたことをお詫びいたします。11月3日、ホームカミングデーで紹介いたします。

寄付金についてのお願い

「友電会給付奨学金」給付人数増員の為の寄付金募集につきまして 母校大阪電気通信大学の学生(準会員)支援(寄付金)のお願い

一般社団法人大阪電気通信大学友電会では、母校の学生(準会員)の経済的な支援を目的として、給付奨学金制度をスタートさせ、学業および課外活動の両立を目指す学生に対し、年間36万円の奨学金を毎年5名に給付しています。

これまでに延べ20名の学生が本奨学生として支援を受け、その中には友電会総会のサポート、新支部の設立など、本会活動に積極的に参加してくれている例もあり、この制度が若年会員の当会への参画を促進することに貢献しているなどの喜ばしい成果もあります。

しかしながら、毎年の応募人数は約20名(コロナ禍を除く)、多い場合には30名以上にも上り、現状では希望者に十分な支援が行き届いているとは言い難い状況です。友電会社員の皆様からの給付人数の増員など、その規模の拡大を求める意見がありますが、予算の問題などから実現には至っておりません。本会では以上のような現状を踏まえ、この奨学金制度をさらに充実させるため、広く友電会会員からの寄付を募り、その寄付金額に応じて給付人数を増員することにしました。つきましては、下記の通り、皆様の温かいご支援をお願い申し上げます。

記

1. 寄付金の目的: 友電会給付奨学金事業の拡充
2. 金額: 一口1,000円(2口以上でお願いします)
3. 寄付の方法: 当会が指定する右記の金融機関口座へお振込みください。
4. 寄付者の公表: 公表の了解が得られた場合に限り、友電会ホームページで寄付者の氏名を、寄付金総額とともに公表します。 以上

枚方信用金庫 寝屋川支店(店番002) 普通預金口座番号0486181
イッシャオオサカデンキツウシンダイカクケツンカイ
一般社団法人大阪電気通信大学友電会 代表理事 廣谷明

※振込手数料は寄付者様のご負担でお願い致します

2024年度 支部総会開催される



■友電会神戸支部 (幸村常一支部長)

開催日:2024年4月13日(土)参加者数21名

今年度最初の支部総会は神戸から始まりました。

三宮東急REIホテルにて神戸支部総会を開催。

2023年度実施事業報告から神戸支部役員紹介(第1号～第5号議案)まで、満場一致で承認されました。

総会后、池本氏によるインド・ネパール仏教遺跡参拝旅行の講演をしました。親睦会では、岡本清孝副会長から大学の現状を含む挨拶、神戸支部の相談役小西氏の乾杯で親睦会を開会、若手会員として四条畷キャンパスイベント運営委員の学生が出席、なわフェスのPRを行いました。



■友電会医療福祉の会 (岡崎浩也支部長)

開催日:2024年5月18日(土)参加者数35名

講演に立った大学院生からは研究の状況を発表し、外部から招聘した講師からは「医療×未来」と題して、臨床現場や国内外の企業との連携における問題点といかに課題解決したかを講演していただきました。現役学生にとっては現在学んでいることと社会とのつながりを意識できる貴重な学びの場となりました。準会員は21名が参加しました。



■友電会ワンダーフォーゲルOB会 (阪口 雅支部長)

開催日:2024年6月23日(日)参加者数26名

寝屋川学舎において総会を開催しました。総会に先立ってご逝去された4期の藤原氏、10期の大山氏へ黙祷しご冥福をお祈りしました。その後、田谷 副支部長(2024年度より支部長)により総会が進行、2023年度事業報告、収支決算報告、監査報告、2024年度の事業計画、予算、役員紹介があり、次回(2025年第15回)上高地キャンプの予定および歌集指導も行いました。ワンゲルOB21名、総勢26名で報告・審議され、原案通り承認されました。



2024年の定時社員総会で選出された友電会
(第3代廣谷明会長)による組織改革が進んでいます。
全国各地で開催される地域支部や特別支部総会には、本部役員が積極的に出向き、友電会員と「つながりの糸」が生まれています。
また、準会員(大学生)の参加も見られ、
活気あふれる雰囲気で盛り上がっていました。
2024年度前期に開催された支部総会について報告します。



友電会OB柔会
(長谷川慎二支部長)

開催日:2024年6月29日(土)参加者数19名

OB柔会特別支部は、特別支部設置総会をホテルプラザオーサカ(19階リビエール)で開催しました。

開会にあたり支部長の長谷川氏が挨拶にたち、準会員をサポートのあり方を説明承認されました。懇親会に移り、一社法人友電会廣谷会長の挨拶の後、来賓として学校法人からは早野秀樹総務部長が大石理事長より預りの祝辞を代読されました。
大学の歴史と共に歩んできた柔道部の「懐かしのDVD鑑賞」で大いに盛会となりました。



今後開催を予定している支部総会です。
勤務地や居住地での開催にはぜひ、ご参加ください。
詳細は、一社法人友電会「支部からのお知らせ」
<https://yudenkai.or.jp/branch>をお確かめください

友電会北関東支部
(坂手宏行支部長)

開催日:2024年7月6日(土)参加者数15名

北関東支部は、清瀧酒造株式会社(埼玉県蓮田市)を見学地に総会を実施しました。
1865年創業と関東でも老舗の蔵元の1つで月2回行われる見学ツアーは大変人気があります。
酒蔵見学の後、敷地内の懇親会場に移動し支部総会后、日本酒の利き酒、食事を兼ねた懇親会を行いました。



全国支部総会の日程

月日曜	支部名	支部長名	会 場	時 間
9.28(土)	京都支部	兵藤 敏夫	からすまホテル	12:30-16:00
10. 5(土)	びわこ支部	堀江健二郎	滋賀県青年会館・石山寺	10:30-16:00
	WVOB会	田谷 利明	文京区民ホール	14:00-18:00
10.12(土)	九州支部	小松 周治	福岡サンパレスホテル	12:30-14:30
10.14(祝月)	電建会	松本 康平	電通大寝屋川学舎	未定
10.19(土)	神奈川支部	田谷 利明	江の島散策	13:00-18:30
10.27(日)	茨城支部	塩田 善裕	茨城県歴史館	未定
11. 9(土)	大阪支部	平岡 臨	阪堺電車貸切ツアー	11:00-14:00
11.16(土)	奈良支部	松井 俊樹	橿原オークホテル	11:00-15:00
11.30(土)	東海支部	藤田 英治	東海市芸術劇場	13:00-19:00
12. 7(土)	東京支部	ショウ ケイシン	都市センターホテル	11:00-16:00
未 定	関東総支部	神山 清明		未定
	千葉支部	神山 清明		未定

新体制がめざす友電会像

理事会役員が刷新されました。早速、2024年度友電会は、全国支部長会を招集し支部長と共に規程の見直しを行いました。また、支部総会には本部役員がお邪魔して、皆様から直接話を聞かせていただいています。3つの合言葉「ふれあい」「寄り添い」「繋がり」を合言葉に友電会の未来を創造していきましょう。
どうぞよろしくお願いいたします。

2024ホームカミングデイは
四條畷キャンパスで開催します。
総合情報学部と医療健康科学部を有する
キャンパスで「なわフェス」が同時開催です。
学生たちと交流するイベントとして
「友電会企画」を準備して卒業生の
皆さまのご来場をお待ちしています。
11月3日は、畷に集合！

**電通大四條畷キャンパス
コナミホール**

2024

**11/
SUN 3**

12:00~17:30

四條畷へおかえりなさい！

卒業生 58,000 人の集い 2024

ホームカミングデイ

大学創立63周年/友電会創立60周年

12:00～ なわフェスオープニング
管弦楽団演奏/吹奏楽団演奏
電通高校音楽部
14:00～ レビューショー(元OSK歌劇団出演)
14:30～ みんなで踊ろう ダンス部共演
15:10～ OBパネルディスカッション
16:20～ ホームカミングデイ(6号館1階)参加費1千円
17:25 閉会予定

「なわフェス」 同日開催

アクセス 会場までの移動は

- 寝屋川キャンパス⇄畷キャンパス
【往路】1時間に1本です。
9:40・10:40・13:10
【復路】1時間に1本です。
16:00・18:30・19:30
- JR四條畷駅⇄畷キャンパス
【往復】1時間に2本にして運行します。

※バス運行については、変更される場合があります。
今後、ホームページでお知らせしますので直前には
お確かめください。

表紙題字「ゆうでんかい」は 故 田崎 秀夫 元学長著

ホームページ <https://yudenkai.or.jp/>

友電会への連絡は e-mail でお知らせください
友電会事務局 info@yudenkai.or.jp

2024年10月22日 第140号

発行所 / 一般社団法人大阪電気通信大学友電会(同大学同窓会組織)

YUDENKAI The Alumni Association of
Osaka Electro-Communication University

〒572-8530 大阪府寝屋川市初町18番8号
18-8 Hatsu-Machi Neyagawa-City Osaka Japan 572-8530

友電会直通 / TEL 072-824-3111 FAX 072-824-1197

発行責任者 / 一社法人友電会 廣谷 明

編集 / 一社法人友電会 企画広報部会、朝日麻衣、事務局

資料提供 / 学校法人大阪電気通信大学総務部、
同大学学事部ほか

寄贈先 / 大阪電気通信大学関係先をはじめ他大学同窓会
並びに国立国会図書館逐次刊行物部 その他

印刷 / 株式会社シンコーアドヴァンス

発送 / 株式会社シンコーアドヴァンス